

## 選挙報告 当選者のことば（新年／新年度）

弁理士 権正 英樹

令和7年度弁理士会定時役員選挙における副会長当選者として、ご挨拶させていただきます。

この度、令和7年度弁理士会定時役員選挙において、皆様のご支援のおかげで副会長に無事に当選させていただきました。この場をお借りしまして、改めて皆様のご支援に御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

ご存じのとおり、今回の選挙は、投票による選挙となりましたので、選挙期間である約3週間の間、多くの方々に、選挙協力をお願いの電話をいたしました。また、多くの方々から、折り返しのお電話をいただき、選挙協力をお願いしました。毎年、選挙には携わっているのですが、今回のように、多くの電話をしたことがなかったので、大変ではございましたが、貴重な経験をさせていただきました。なお、選挙事務所は、私の所属する樹之下知的財産事務所に置かせていただきました。選挙期間中は、事務所の所員の方に、業務の傍ら、電話の取次ぎなどでご協力いただき、また、事務所の電話料金が通常時の約10倍になるなど、大変お世話になりました。樹之下知的財産事務所の皆様にも、この場をお借りしまして、御礼申し上げます。

以上のように、大変な3週間を経験いたしました。最終的に500票を超えるご支持をいただきました。このような大きなご支持をいただき、これまでにない喜びを味わうことができました。本当にありがとうございました。

しかしながら、先日の祝賀会の激励のお言葉にもありましたように、「当選はゴールではなくスタートです」。このお言葉を深く胸に刻み、これからの任務に真摯に取り組む所存です。

次年度会務検討委員会は10月より始動しており、現副会長、附属機関長、および地域会長の皆様からレクチャーをいただきました。学ぶべきことのあまりの多さに苦戦しているところではありますが、懸命に努力し、来年4月には次年度会長の北村修一郎先生を支える弁クからの副会長として、責務をしっかりと果たしてまいります。

また、来年度以降、対処の難しい課題が生じる場面も想定されます。その際には、遠慮なく皆さまのお力添えをお願い申し上げますので、どうぞご協力のほどよろしくお願ひいたします。

約1年半の間、日本弁理士会の発展のため、全力を尽くしてまいります。引き続き温かいご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

以上